

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成31年2月21日(2019.2.21)

【公表番号】特表2018-505720(P2018-505720A)
 【公表日】平成30年3月1日(2018.3.1)
 【年通号数】公開・登録公報2018-008
 【出願番号】特願2017-536957(P2017-536957)
 【国際特許分類】

A 6 1 F 2/90 (2013.01)

【F I】

A 6 1 F 2/90

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月8日(2019.1.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ステントであって、

第 1 の空隙率を有する第 1 の領域と、前記第 1 の領域に隣接する、前記第 1 の空隙率より高い第 2 の空隙率を有する第 2 の領域とを有し；、

前記第 1 の領域と前記第 2 の領域の双方が、それ自体と編まれた 1 本のワイヤから形成されて、1 本のステントマンドレル上で、同時に編まれた単一の環形状を形成しており；

前記第 1 の領域が複数の機械的結束をさらに備え、前記複数の機械的結束のそれぞれは、前記ワイヤの第 1 の部分と、前記第 1 の部分と重なる前記ワイヤの第 2 の部分とを接続し；

前記複数の機械的結束のそれぞれが、第 1 の内径を有し且つ前記第 1 の部分の周りにのみ配置された第 1 のコイルをさらに含み；及び

前記複数の機械的結束のそれぞれが、前記第 1 の内径より大きい第 2 の内径を有する第 2 のコイルをさらに含み、前記第 2 のコイルは前記第 1 のコイルに接続されていることを特徴とするステント。

【請求項 2】

前記第 1 の領域が第 1 の編組みパターンで編まれ、前記第 2 の領域が第 2 の編組みパターンで編まっている、請求項 1 に記載のステント。

【請求項 3】

前記ワイヤが、前記第 1 の領域内において前記第 2 の領域内よりも大きな直径を有する、請求項 1 に記載のステント。

【請求項 4】

前記第 2 のコイルが前記第 1 の部分と前記第 2 の部分の周りに配置されている、請求項 1 に記載のステント。

【請求項 5】

前記第 2 のコイルが前記第 1 の部分の周りのみに配置されている、請求項 1 に記載のステント。

【請求項 6】

前記複数の機械的結束のそれぞれが、前記第 1 の内径と等しい第 3 の内径を有する第 3 のコイルをさらに備え、前記第 3 のコイルが前記第 1 の部分の周りのみに配置されている

、請求項 1 に記載のステント。

【請求項 7】

前記複数の機械的結束のそれぞれが、前記第 1 の内径と等しい第 3 の内径を有する第 3 のコイルをさらに備え、前記第 3 のコイルが前記第 2 の部分の周りにのみ配置されている、請求項 1 に記載のステント。

【請求項 8】

ステントであって、

1 本のマンドレル上で編まれ、環状の第 1 の空隙率を有する編まれた第 1 の領域と前記第 1 の空隙率より高い第 2 の空隙率を有する編まれた第 2 の領域の双方を単独で形成する、1 本のワイヤを含み；

前記管状の第 1 の領域が複数の機械的結束をさらに備え、前記複数の機械的結束のそれぞれは、前記ワイヤの第 1 の部分と、前記第 1 の部分と重なる前記ワイヤの第 2 の部分とを接続し、

前記複数の機械的結束のそれぞれが、第 1 の内径を有し且つ前記第 1 の部分の周りにのみ配置されている第 1 のコイルをさらに含み；及び

前記複数の機械的結束のそれぞれが、前記第 1 の内径より大きい第 2 の内径を有する第 2 のコイルをさらに含み、前記第 2 のコイルは前記第 1 のコイルに接続されている、ステント。

【請求項 9】

前記第 1 の領域が第 1 の編組みパターンで編まれ、前記第 2 の領域が第 2 の編組みパターンで編まれている、請求項 8 に記載のステント。

【請求項 10】

前記ワイヤが、前記第 1 の領域内において前記第 2 の領域内よりも大きな直径を有する、請求項 8 に記載のステント。